

1 単元名 書かれていることがらの中心をおさえながら読もう  
「イースター島にはなぜ森林がないのか」(説明文)

2 目標

- (1) 教材文の内容を進んで読みとり、自然や環境に興味を持ち、自分の考えをもととする。  
(関心・意欲・態度)
- (2) 叙述に即して内容を読み取り、自分の考えを明確にしながらか読むことができる。(読むこと)
- (3) 内容を理解するため語句について調べたり、新出漢字を使いこなすことができる。(言語事項)

3 単元について

(1) 教材について

6年生における初めての説明文読解の学習である「イースター島にはなぜ森林がないのか」の教材を通して、説明的文章の読解力をしっかりと身に付けさせることを意図して本単元を設定した。本教材は「イースター島の紹介」「イースター島の森林は、なぜ、どのようにして失われたのか」「イースター島の歴史から教えられること」という三つのおおきなまとまりで構成されている。森林が失われた説明の中で、ポリネシア人、ラットの大きな二つの原因についての述べ方や、具体例とそこから導き出された筆者の考えなどが、分かりやすく説得力のある構成、内容の文章である。ここで、内容の中心を押さえ文章全体の組み立てを理解させたい。また、千六百年前森林に覆われていたイースター島に上陸した人々がたどった運命は、児童が知っている現代の環境問題との関連においても切実感のある内容である。筆者の考えをとらえて、自分自身の考えを表す力もつけさせたい。

(2) 児童の実態について

6年生の子どもたちは、昨年度文学的文章の読解に力を入れて学習してきた。作者からのメッセージを探るため、一人読みをした後グループで感想交流をすることにより自分の読みを深めていくという学習法を行った。その結果、場面に応じて状況を読み取る力や、心情が表れている描写を読み取る力は付けてきている。

しかし、県学力テストの結果をみると、説明的文章の読み取りでは、叙述に即して内容を読み取る力の正答者数が8人、叙述に即して適切な語句を選ぶ力の正答者数が10人と読解力が定着していない状況が見られる。このことを踏まえて、叙述に即して内容を読み取る力をしっかりと身に付けることが大切であると考えた。またその中で、書かれている内容について、どういうことなのか考えながら読むことを学ばせ主体的に読む児童を育てたい。

「読むこと」についての実態調査

〇〇小 6年〇組 (男14人 女13人 計27人)  
(意識調査から)

1 説明的文章を読むことは、楽しいですか。  
はい 7人 いいえ 20人

2 説明的文章を読むときに気をつけていること。

- ・大事な言葉に線を引く 17人
- ・文章構成を考える 12人

(実態調査) H18年度県学力診断テスト  
読むこと(説明的文章)

- ・叙述に即して内容を読み取る力  
正答者数 8人 誤答 19人
- ・叙述に即し適切な語句を選ぶ力  
正答者数 10人 誤答 17人
- ・内容を押さえ段落相互の関係を押さえる  
正答者数 13人 誤答 14人

(3) 指導にあたって

学習過程としては、「調べ読み」「探り読み」「表現に開く」の三段階を設定する。それぞれの段階の読み取りの力をつける手だてとして三種類の「読み取りマップ」を活用する。「読み取りマップ」とは、中心に置いた言葉から関連づけられる言葉を線でつなぎ、言葉同士の関係を示して言葉のネットワークを作るものである。このことで、文章の細部まで読み取り、段落相互の関係や語句と語句の関わりをとることができる。

まず、必要な情報を得る力をつける「調べ読み」の段階では、「イースター島はどんな島」を課題とする。ここでは、読み取りマップNo.1を活用してキーワードを取り出す。キーワード同士の言葉の関わりをつなげていくことで、内容を叙述に即して詳しく読み取る。地図や写真を文章とかかわらせて必要な情報を得る力もつける。次に、文章に即して内容を考える力をつける「探り読み」の段階では、「イースター島にはなぜ森林がないのか」を課題とする。四つのキーワードからそれぞれのマップピースを作成する。そのマップピースを読み取りマップNo.2上で分類し、文章構成をとらえ、展開の工夫を理解し筆者の考えを知る。最後に「表現に開く」段階では、「イースター島復活プロジェクト計画を立てよう」を課題とする。読み取ったことを基に自分の経験や知識を結びつけ自分の考えを表す力を育てる。自分の考えを持ちグループで感想交流することで、考えを深めたり広げたりし、思考を広げてさせていきたい。

4 単元の評価規準

|         | ア 国語への関心・意欲・態度  | エ 読む能力  | オ 言語についての知識・理解・技能   |
|---------|---|---|---|
| 単元の評価規準 | 環境に関わる教材文に興味をもち、進んで内容を読もうとしている。<br>文章の内容を的確に把握したり、論理などを押さえながら読もうとしている。<br>筆者の意見を基に自分の考えを表現しようとしている。 | 叙述に即して、中心語句や段落に気をつけながら内容の中心を押さえて読んでいる。<br>文章構成を手がかりとして筆者の述べ方を読み取っている。<br>読み取った内容や意見に対し、自分の立場からそれらのことについてどのように考えるか意識して読んでいる。 | 内容を理解するための語句について、辞典を利用して調べる習慣が付いている。<br>新出漢字や漢字の特性について理解している。 |

5 指導と評価の計画 8時間扱い

| 次         | 時間     | 学習活動  | 指導上の留意点   | 学習活動における具体的評価規準と評価方法   | PISA型読解を目指したつきたい力          |
|-----------|--------|---|---|--|----------------------------|
| 一<br>調べ読み | 1<br>2 | ①「読み取りマップNo.1」にイースター島はどんな島か書かれていることをまとめる。<br>②難語句や新出漢字を調べる  | ○「読み取りマップNo.1」を作成する際に、写真や地図からも情報を得るように促す。<br>○読み取りマップにイースター島についてキーワードで書き抜くようにさせる。難しい児童は短い言葉で書くよう助言する。<br>○ある程度自分で取り組みその後グループで確認させる。<br>○調べる前に、前後から意味を想像してから調べるように促す。そのとき用法もきちんと確認するように助言する。                               | ア ①教材文の話題に関心を持ち、進んで情報をとらえようとしている。<br>(発言・行動)<br>エ ①教材文全文を読み、イースター島について読み取ったことをわかりやすくまとめている。<br>(読み取りマップ)<br>オ ①内容を理解するために語句調べをしたり、漢字の特性を理解している。<br>(ノート) | 文章や地図から情報を正確に取り出す力         |
| 二<br>探り読み | 3<br>4 | ④問題提起の部分「イースター島の森林は、なぜ、どのようにして失われてしまったのか」を探し、問題を解き明かすためのキーワードをみんなで決める。<br>⑤四つのキーワード「ポリネシア人」「モアイ像」「ラット」「ヤシの木」の中からグループで一つ選び、協力して読み取りマップピースに取り組む。<br>⑥事柄の順序にそって残りのマップピースを整理し、まとめる。 | ○「問い」の文末表現「～だろうか。」着目して探すように助言する。<br>○キーワードを自ら探すことで読み取りマップピースを作る意欲を引き出す。<br>○グループで四つのキーワードから一つ選び、キーワードを基に、マップピース上で言葉同士をつなげるように助言する。<br>○グループで取り組んだ読み取りマップピースを参考に残りのマップピースを工夫して取り組むよう励ます。<br>○進まない児童へはヒントカードを示して解決できるようにする。 | エ ②論の展開をとらえるためおおまかな内容を理解している。<br>(発表・ノート)<br>エ ③事柄の順序を考えながら読むことができる。<br>(読み取りマップ)  | 書かれていることがどのような意味を持つのか理解する力 |
| ⑤<br>本時   |        | ⑦「読み取りマップNo.2」上でマップピースを使って分類し、つながりを考えることで文章全体の組み立てを   | ○読み取りマップピースにまとめたことを活用しながら共通のキーワード、接続詞などに着目することで分類させる。   | エ ④文章構成を基に筆者がどのような事実に基づき森林がなくなった原因について述べているか   |                            |

|            |        |  |  |   |                                      |
|------------|--------|--|--|---|--------------------------------------|
|            |        | <p>理解する。</p> <p>⑧筆者の論の展開の工夫について考える。</p> <p>⑧ 1722年のイースター島の様子を「読み取りマップNo.3」にまとめ、筆者の意見をとらえる。</p>   | <p>○筆者の「答え」を導き出すために、具体例がそれぞれどんな働きをしているか考えるよう助言する。</p> <p>○筆者の意見の書かれているところを要約することにより筆者の考えをとらえさせる。</p> <p>○文末表現「ないだろうか」に着目して筆者の考えを探すように助言する。</p>   | <p>理解している。<br/>(読み取りマップ)</p> <p>エ ⑤筆者の論の展開の工夫について気付いている。(発表)</p> <p>エ ⑥森林がなくなった原因を踏まえて、筆者の考えを捉えている。<br/>(読み取りマップ)</p> |                                      |
| 三<br>表現に開く | 7<br>8 | <p>⑩ 1722年のイースター島の様子をまとめた「読み取りマップNo.3」を使って「イースター島復活プロジェクト計画」を考える。</p> <p>⑪グループで感想交流をしてイースター島を復活させるためのアイデアを検討する。</p> <p>⑫自分たちが考えたイースター島復活プロジェクト計画をグループ毎に発表する。</p> | <p>○「読み取りマップNo.3」にまとめた1722年のイースター島の状況を改善する案を自分たちがその時代にタイムスリップしたという設定で考えさせる。</p> <p>○自分の考えをもつきっかけとなった「イースター島」での出来事を明確にすることで、お互いの考えの広がりや深まりがでるように助言する。</p> <p>○話合いで出た案をすべて使うのではなく、選択してまとめるように助言する。</p> | <p>アー②イースター島の森林が復活するアイデアを出すことができる。<br/>(読み取りマップ)</p> <p>エ ⑦今までの知識や経験と結びつけてイースター島復活プロジェクト計画をまとめている。<br/>(読み取りマップ)</p>  | <p>自分の経験や知識に照らしながら自分の考えをもち、表現する力</p> |

6 本時の学習

(1) 目標

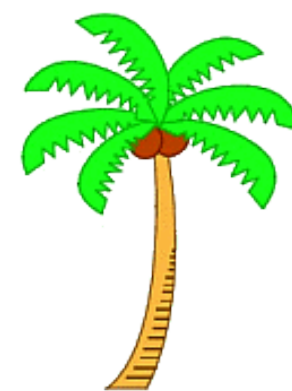
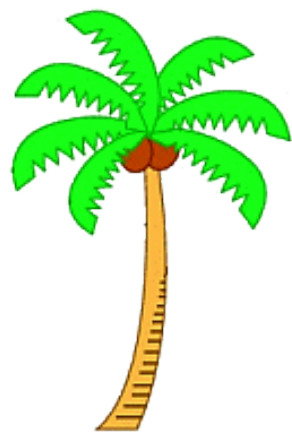
森林がなくなった原因をとらえ、筆者の論の展開の工夫について考えることができる。

(2) 主な手だて

- ・キーワード毎にまとめた読み取りマップピースを使うことにより教材文を構造化してまとめられるようにする。
- ・筆者の論の展開の工夫を考える際に、接続詞や指示語、文末表現に着目することで理解しやすくする。

(3) 展開

| ねらい   | 学習内容及び活動  | 教師の指導・支援上の留意点  | 準備・資料   |
|---|---|--|---|
| <p>1 学習課題をつかむ。</p> <p>2 マップを使って原因を探る。</p> <p>3 筆者の論の展開の工夫を探る。</p> | <p>1 本時の学習内容を確認める</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>イースター島にはなぜ森林がなくなったのか原因を探ろう</p> </div> <p>2 読み取りマップピースにまとめてある言葉のつながりを考えて分類をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリネシア人</li> <li>・モアイ像</li> <li>・ラット</li> <li>・ヤシの木</li> </ul> <p>四つのマップピースのつながりを考えながら分類する。</p> <p>3 分類したものを持ち寄り、森林がなくなった原因がわかりやすいように読み取りマップNo.2にまとめる。</p> <p>四つの原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地開墾のため</li> <li>・丸木船を造るため</li> <li>・モアイ像の「ころ」のため</li> <li>・ラットがヤシの実を食べたため</li> </ul> <p>4 読み取りマップNo.2に森林が失われてしまった答えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリネシア人による森林伐採(食料確保・宗教)</li> <li>・ラットによる生態系への影響</li> </ul> <p>5 ポリネシア人による三つの原因のつながりとラットとの関係を考えマップから論の展開を確認する。</p> | <p>・読み取りマップピースでまとめた事柄を分類していくことを確認する。</p> <p>・まず、ヤシの木以外の3枚をつなげるように指示する。</p> <p>・なかなかつながりを見つけられない児童には、3枚のマップピースに共通している「ポリネシア人」でつながるかどうかが考え、それからヤシの木との関係を考えるように助言する。</p> <p>・原因は四つであることを知らせておく。</p> <p>・マップピースに共通に書かれている言葉を中心語として選び、マップにで分類しながらまとめていくように助言する。</p> <p>中心語になるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリネシア人</li> <li>・ヤシの木</li> <li>・森林破壊</li> </ul> <p>☐筆者がどのような事実に基づいて森林がなくなった原因を述べているかマップから理解している。(発表・読み取りマップ)</p> <p>・三つの原因は「まず」「次いで」「さらに」でつながり「このように」でまとまっていることを本文で確認させる。</p> <p>・本文中のポリネシア人の三つの出来事だけなら森林が復活したかもしれないという筆者の意見を文末表現で着目させる。</p> <p>☐筆者の論の展開の工夫について気付くことができている。(発表)</p> | <p>読み取りマップNo.2</p> <p>読み取りマップピース</p> <p>読み取りマップNo.2</p> |



Answer sheet layout:

- A horizontal rectangular box at the top, divided into two sections. The left section is labeled "答え" (Answer) and the right section is blank.
- A small rectangular box with an upward-pointing arrow is positioned below the horizontal box.
- A large oval shape below the arrow is labeled "問い" (Question).

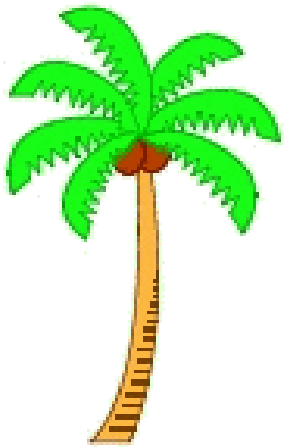
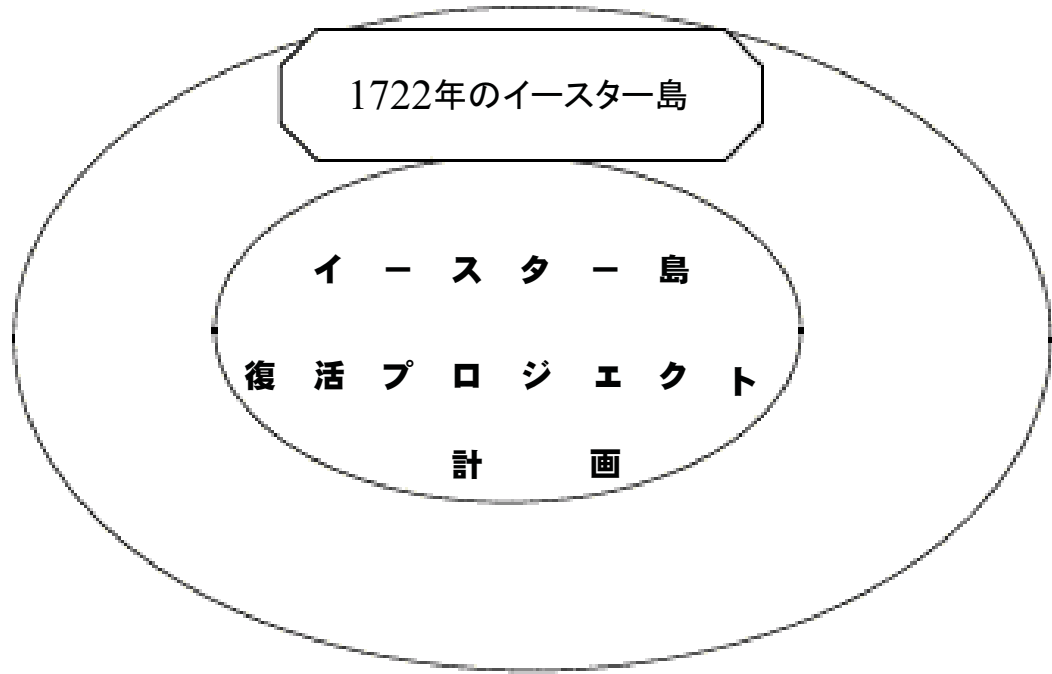
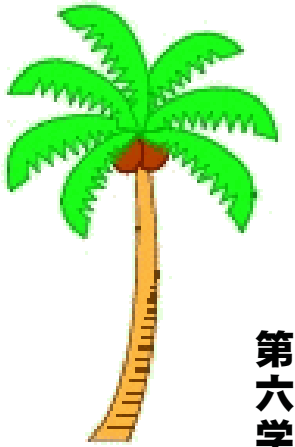
第六学年（ ）組 番氏名（ ）



イースター島はどんな島？ まとめてみよう

イースター島は  
どんな島？

第六学年（ ）組 番氏名（ ）



私の考える復活プロジェクトは

ホリネツク  
ヤ



マウス

モアイ像



木の  
ヤシ